

介護ロボット使用状況報告書

平成31年1月27日

| 法人名 | 介護サービス事業所名 | 介護サービスの種別 |
|---|-----------------------|-----------|
| 社会福祉法人 市川朝日会 | 特別養護老人ホーム サンライズ市川 | 介護老人福祉施設 |
| 介護ロボットの種別 | 介護ロボットの製品名 | |
| 見守り | 「離床見守りシステム」(ジーコム株式会社) | |
| 介護ロボット導入時期 | 導入台(セット)数 | |
| 平成31年1月15日 | 1 | |
| <p>【介護ロボットの使用状況(使用する業務・使用頻度等)】</p> <p>※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入所者100名中50名程度利用している。 ・センサーマットを踏むと、ナースコールと連動して、職員が携帯するスマホが鳴り登録した利用者名が表示され、駆け付けることができる。 ・ベッド脇に設置して臥床時、夜間に使用するケースが多い。 ・他、別紙参照 | | |
| <p>【介護ロボットの導入効果(使用する業務・使用頻度等)】</p> <p>※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマホを使用しての、コール対応を行うことにより、居室対応中でも誰が起きてきたか瞬時に把握することができ、安全確保が行えている。 ・Wi-Fiの使用での機器を導入することにより、壁に差し込むジャック式のセンサーマット等と違い、場所の制限がほとんど無いため、転倒防止、徘徊検知など用途も多く効果を実感している。 ・介護ロボットを使用することで、職員の介護負担の軽減、利用者のリスク軽減、家族の満足度が高い。 | | |
| <p>【介護ロボットの不都合な点の課題】</p> <p>※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機械に頼りすぎてしまうと、操作ミスが起きた際に対応が遅れるので注意している。 ・機械が壊れてしまった場合に、センサーが反応しない。 ・操作方法の説明、使用方法の徹底を行い正しく運用しなくては、逆にリスクが高くなってしまったり、職員の負担が重くなってしまいう可能性がある。 | | |

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 2年 2月 23日

| 法人名 | 機器導入事業所名 | 施設の種別 |
|--|----------------------|----------|
| 社会福祉法人 市川朝日会 | 特別養護老人ホーム サンライズ市川 | 介護老人福祉施設 |
| 介護ロボットの種別 | 介護ロボットの製品名 | |
| 見守り | 「離床見守りシステム」 | |
| 介護ロボット導入時期 | 導入台数 | |
| 平成31年 1月15日 | 1台 | |
| 【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 センサーマットをベッド脇に設置し、ナースコールと連動させている。特に夜間の離床の効果を発揮し、平均して1日6回反応している。 Wi-Fiでの接続なので、使用場所を選ばず、居室の入り口などにも設置でき、入居者の個々に合わせて使用できる。 | | |
| 【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 Wi-Fiを利用しての、コールシステムため場所を選ばず、スマホに入居者名が出るので職員がすぐに駆けつけることができる。入居者の転倒転落のリスクの軽減にとっても役立っている。入居者家族の満足度も高い。 見守りが行いやすくなり、入居者の怪我也減るため、職員の身体的、精神的な負担の軽減にも繋がっている。 | | |
| 【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 使用法を守らないと、事故のリスクが高くなってしまう | | |